



## 親族らに囲まれ長寿を祝う

渡邊ヨシミさんが満100歳を迎える

渡邊ヨシミさん(3区)が8月1日、満100歳の誕生日を迎え、同日は100歳の節目を祝おうと親族らが集まり誕生日会が開かれました。青木町長が渡邊さんに百寿を祝う花束と記念品を贈呈すると「どうもありがとうございます」とはっきりとした口調で、笑顔で応じていました。

ご家族によると、渡邊さんは大きな病気をしたことがなく、食べ物の好き嫌いなく過ごしてきたことが長寿の秘訣ではないかと話してくれました。



## 平和の尊さを学ぶ

12区の地域学習で戦争体験講話

8月9日、12区公民館で地域学習活動として小学生を対象とした戦争体験講話が開催されました。講師の橋本英雄さん(11区)は、1945年8月10日に平泉駅へ空襲があった際、命の危険が迫った体験を説明。千葉キクエさんは、配給の切符があっても物が届かなかったなど当時の食料状況について話しました。参加者らは、講話を通して戦争の悲惨さと平和の尊さについて学びました。

## 新成人らが祭典の成功祈る

「平泉未来の火」を採火

東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの町での採火を8月15日に平泉小学校駐車場で行いました。採火には、令和2年度と3年度の成人式実行委員らが参加し、マイギリ式の火起こしに挑戦。火を起こした佐藤瑞来さん(11区)は「選手たちが活躍し、日本中が喜びに沸く大会になってほしい」と盛岡市まで火を運ぶ町身体障害者協議会の伊東次男さん(6区)に祭典の成功を願いトーチを手渡しました。



## 分煙の推進と環境整備を要望

県たばこ販売協同組合が要望書を提出

8月18日、県たばこ販売協同組合(高橋金兵衛理事長)の内藤喜正理事(写真左から2人目)らが町役場を訪れ、青木町長に分煙環境整備に関する要望書を提出しました。要望を受けて青木町長は「たばこの煙のない平泉町を目指すプロジェクトの包括協定は、喫煙者を減らしたり、喫煙所をなくすというものではない。今回の要望を受け止めて、今後の取り組みに生かしたい」と話しました。



写真1 調査区全景(北から)

調査区の両端では溝や柱穴が見つかりましたが、中央や北側は後世に大きく掘削されて、柱穴などの遺構は残っていませんでした。

# 発掘最前線 平泉を掘る

無量光院跡第48次調査



写真2 5号溝(南西から)

幅1.7~1.9㍍で、深さ70㍍、見つかった長さは4㍍で、底は北に向かって低くなっています。この溝からは、かわらけや瓦の破片が多く出土しました(写真3・4)。

屋根に瓦を使っ  
た建物が近くに  
あったケロ!



©2013岩手県 ケロ平  
designed by センウエンルー

6月に無量光院跡東端で行った発掘調査で、溝跡4条、柱穴25個、土坑1基などが見つかりました(写真1)。土坑は、獲物を捕るための落とし穴と思われる。埋め土の状態から12世紀より古いと思われる。溝跡、柱穴は12世紀と近世のものがありました。南東端の溝(5号溝・写真2)からはかわらけや、瓦の破片が多く見つかりました。無量光院跡の東側では、他の地点よりも瓦が多く見つかる傾向があり、特徴の一つと言えます。



写真4 5号溝から見つかった瓦

瓦は5号溝の上層から多く出土しました。破片でもろいものがほとんどでした。



写真3 5号溝「かわらけ」出土状況

かわらけは、大半が破片で見つかりましたが、溝の底の方では形の分かるものも見つっています。